

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 計画的に複数回に分けて塞栓術・硬化療法を行った頭頸部動静脈奇形の治療成績

[研究責任者] 長崎医療センター 形成外科 医師 古賀 一史

[研究の背景] 脈管奇形は動脈、静脈、毛細血管、リンパ管といった構成要素により細分され、その混合型も存在します。その大半は原因不明であり根本的な治療が確立していません。病変が小さく切除治療が可能なものから、多発性あるいは巨大で周囲組織に浸潤し治療に抵抗性を示す難治性のものまで幅広く含まれます。治療法は外科的治療、硬化療法、塞栓術、薬物療法、レーザー治療、放射線治療などが挙げられます。

当院において、頭頸部動静脈奇形に対して計画的に塞栓術、硬化療法を施行した症例をまとめ、分割する意義およびその有用性について考察することを目的とします。

[研究の目的] 頭頸部動静脈奇形症例に対し、当院で計画的に複数回に分けて塞栓術・硬化療法を施行した症例の予後を集計し、治療の効果を検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2018 年 8 月 1 日から西暦 2024 年 3 月 31 日までに長崎医療センター形成外科で頭頸部動静脈奇形に対して塞栓術・硬化療法を施行された方

●研究期間：倫理審査委員会承認日～西暦 2025 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、初診時所見、術前評価、術中所見(手術記録)、術後経過(評価)、CT、MRI、血管造影結果

●情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター
形成外科 医師 古賀 一史
電話番号：0957-52-3121（代表）